

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ④ 観光等分野(4/4)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区 (大阪府、泉佐野市)	3.1	2.3  進捗度 ・国際医療交流の推進 40%  ・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 -%	3.3  規制の特例等 ・地域限定特例通訳案内士育成等事業 等  地域独自の取組 ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金  ・宿泊施設設置奨励金 等	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と観光の連携が希薄な印象を受ける。コロナの収束時期が見通せない中、インバウンド客に代わる当面のターゲットの明確化が求められる。</li> <li>・関空ゲートシティとして関空以南の国際的観光資源への回遊ルートの送客拠点構想は時機を得ているが、実現に向けては、りんくうタウンに宿泊・滞在し、消費をしてもらうための必然性を考えたときに本特区を活用したヘルス(ウェルネス)をテーマとした周遊ルートの設定、国際ブランドのホテル誘致、特区ガイドによるおもてなしの高度化が望まれ、今後の具体的な取組みに期待したい。</li> <li>・国際医療交流の推進については、ニーズそのものが減少するこの状況下においても健闘されていることが窺え、未達成ではあるものの評価</li> <li>・エアポートフロントの宿泊拠点は、交通利便性を優先した中継地としての役割が大きく、地域におけるより以上の消費にあまり期待できないところがある。現在、関西空港以南への回遊ルートの設定によるゲートシティとしての位置づけを目指しているが、回遊ルートがある程度確立したとしてもより丁寧に来訪者の滞在時のニーズなどを把握し、特区ガイドが地域のコンシェルジュとなってゲートシティにおける滞在の中でもより充実した滞在ならびに消費行為を行ってもらえるような対応が求められる。</li> </ul>